

東久留米三田会 秋のウォーキング



春に続いて三田会2回目のウォーキングを11月12日(土)に実施しました。

前夜来の雨も上がり、やや汗ばむような見事な秋晴れの下、シティウォークを楽しみました。

今回は慶応義塾発祥の地の築地から三田キャンパスまで薬学部共立キャンパス経由のウォーキングでしたが、今回は広尾から、福沢先生墓所参詣の途中、天現寺の幼稚舎、中等部、女子高、三田キャンパスへと義塾一貫教育の学校を進学順に山の上まで闊歩しました。

幼稚舎の校門の前では、ウン十年前には童顔？であったはずの厚顔のシニア達が、羞恥心をかなぐり捨てて御息女連れのお母さんにシャッターを押してもらう一幕もありました。

三田キャンパスでは、矢張り「社中交歓萬来舎」(注)です。いささかの疲れを癒やすビールで乾杯し、小一時間ばかりの歓談で下世話の苦労？もすっ飛ばす快適なひと時でした。



福沢先生墓所です。戒名は「大観院独立自尊居士」。麻布山善福寺の墓では、命日の2月3日「雪池忌」(ゆきちき)には、多くの塾関係者が墓参します。(合成画像です)



幼稚舎(小学校)。都心のど真ん中に広々とした校庭を持つ。中央のケヤキが印象的でした。



幼稚舎前で記念撮影。ウン十年前のむかし童顔？いま厚顔の面々。



有栖川記念公園で一寸立ち休みです



中等部



中等部校庭



女子高



校庭内に庭園があります。さすが女子高です。



(注)社中交歓萬来舎…南館に新設された「社中交歓萬来舎」は塾員と塾職員だけが利用できるコミュニティ・スペースです。参考までに前回の記事を引用します。萬来舎の名の由来は「衆客の来遊に備えた舎」の意「議論なすべし談話妨げず…来るものは拒まず去る者は留めず、興あれば居れ、興尽くなば去れ、去て客尽きれば明朝の客来を待つ…」(小幡篤次郎氏書萬来舎之記 より) 来年春のウォーキングは、6月2日(土)藤沢キャンパス訪問を予定しています。詳細は次の会報でお知らせします。身体と心の健康のために沢山の人が参加していただくことを期待しています。(文責 32年経済卒 カ久俊治)